

2024年 フォーラム・ポーランド会議

ポーランドの地域的多様性、あるいは他者との共生

日時： 2024年12月7日（土）10:30-16:00
場所： 駐日ポーランド共和国大使館 タデウシュ・ロメル ホール
主催： フォーラム・ポーランド
協力： ポーランド広報文化センター
人数： 先着 80名 締め切り 11月30日（土）
言語： 日本語
会費： 一般：2,000円、大学学部生、高校以下の学校生徒：無料
*昼食（お弁当）はポーランド広報文化センターが無料で用意

参加登録については、このプログラム 10 ページ以降をご覧ください。

プログラム

10:00 受付開始

司会：平岩理恵（フォーラム・ポーランド事務局長、ポーランド広報文化センター）

10:30～10:40 開会の辞： 田口雅弘・フォーラム・ポーランド代表（環太平洋大学教授、岡山大学名誉教授）

10:40～10:50 歓迎の挨拶：パヴェウ・ミレフスキ・駐日ポーランド共和国特命全権大使

10:50～11:10 記念撮影

午前の部 11:10～12:30

11:10～11:50 プログラム全体の紹介

白木太一・フォーラム・ポーランド副代表（大正大学教授）「ヴァルミア司教区とポーランドーコペルニクとクラシツキの時代を中心にー」

11:50～12:30 細田信輔（龍谷大学名誉教授）「カシューブ人の歴史と知識人ーフローリアン・ツェイノヴァの思想と行動（1817-1881）」

12:30～13:10 昼食、休憩

午後の部： 13:10－15:10

13:10~13:50 藤井和夫（関西学院大学名誉教授）「19世紀から第2次大戦までのウッチの発展と他者との共生」

13:50~14:30 衣笠太郎（神戸大学講師）「19～20世紀のシロンスクにおける地域性と多様性」

14:30~15:10 三和昭子（ポーランド、ハルクローバ村 Villa AKIKO オーナー）「ハルクローヴァ便り」
（司会：加須屋明子・フォーラム・ポーランド副代表、京都市立芸術大学教授）

（ハルクローヴァ在住の三和さんとオンラインで結んでお話を伺う。また三和さんの知り合いのハルクローヴァの方々へのインタビューをビデオレターの形で紹介する）

ミニコンサート 15:10~15:50 （総演奏時間 20～27分程度）

（今回取り上げたポーランドの諸地域ほかに因んだ音楽のピアノ演奏）

演奏 木田左和子（ピアニスト、昭和女子大学講師）：ピアノ⑤⑦

草野由美子（ピアニスト）：ピアノ①④⑦

小早川朗子（ピアニスト、桜美林大学教授）：ピアノ②③⑥

趣旨説明 白木太一（大正大学教授）

- ① （カシューブ）ノヴォヴィエイスキ 「ヴァルミア賛歌」
- ② （ヴァルミア）ノヴォヴィエイスキ 「ヴァルミア地方の25のポーランド民謡（数曲抜粋）」
- ③ （カシューブ）ノヴォヴィエイスキ 「ボロヴィアク」
- ④ （ウッチ）キラル 約束の土地より「ワルツ」
- ⑤ （ルテニア）クシジャノフスキ 「ドゥムカ」
- ⑥ （シロンスク）ルトスワフスキ 「シレジアン・ダンス—子供のためのアルバム」
- ⑦ （タトリ）ノスコフスキ 「グラル幻想曲」（連弾）

15:50~16:00 閉会の辞 ウルシュラ・オスミツカ ポーランド広報文化センター所長・参事官

Konferencja „Forum Polska” 2024

Zróżnicowanie i koegzystencja regionów w Polsce

P R O G R A M

Data: 7 grudnia 2024 (sobota), 10:30 – 16:00

Miejsce: Sala im. Tadeusza Romera, Ambasada RP w Tokio

Organizator: Forum Polska

Współorganizatorzy: Instytut Polski w Tokio, Ambasada RP w Tokio

10:00 Otwarcie recepcji

Moderator: Rie Hiraiwa (Kierowniczka Sekretariatu Forum Polska, Instytutu Polskiego w Tokio)

Otwarcie Konferencji 10:30 – 11:10

10:30 – 10:40 Wystąpienie Przewodniczącego Forum Polska Masahiro Taguchi (prof. International Pacific University, prof. emer. Okayama University)

10:40 – 10:50 Wystąpienie powitalne Ambasadora Rzeczypospolitej Polskiej w Japonii Pawła Milewskiego

10:50 – 11:10 Wspólne zdjęcie

Sesja przedpołudniowa 11:10 – 12:30

11:10 – 11:50 Taichi Shiraki (Wiceprzewodniczący Forum Polska, prof. Taisho University)
Warmia a Polska za czasów Kopernika i Krasickiego

11:50 – 12:30 Shinsuke Hosoda (prof. emer. Ryukoku University)
Historia Kaszubów i ich inteligencja – Myśl i działalność Floriana Ceynowy (1817-1881)

12:30 – 13:10 Lunch

Sesja popołudniowa 13:10-15:10

- 13:10 – 13:50 Kazuo Fujii (prof. emer. Kwansei Gakuin University)
Rozwój Łodzi i relacje z innymi regionami w latach 1820 – 1939
- 13:50 – 14:30 Taro Kinugasa (wykł. Kobe University)
Regionalizm i różnorodność na Śląsku w XIX-XX wieku
- 14:30 – 15:10 Akiko Miwa (właścicielka Villi AKIKO w Harklowej)
Wiadomość z Harklowej (rozmowa wideo, moderatorka: Akiko Kasuya –
Wiceprzewodnicząca Forum Polska, prof. Kyoto City University of Arts)

Mini-recital fortepianowy: 15:10-15:50

Utwory regionalne związane z tematyką konferencji (ok. 20 – 27min.)

Występują:

Sawako Kida (pianistka, Showa Women's University) ⑤⑦

Yumiko Kusano (pianistka) ①④⑦

Tokiko Kobayakawa (pianistka, prof. J. F. Oberlin University) ②③⑥

Moderator: Taichi Shiraki

- ① Kaszuby – Feliks Nowowiejski : Hymn Kaszubski;
- ② Warmia – Feliks Nowowiejski : Z „25 Polskich pieśni ludowych z Warmii op.21-8” (fragmenty);
- ③ Kaszuby – Feliks Nowowiejski : Borowiak;
- ④ Łódź – Wojciech Kilar : Walc z filmu „Ziemia obiecana”;
- ⑤ Ruś Kijowska – Ignacy Krzyżanowski : Dumka;
- ⑥ Śląsk – Witold Lutosławski : Silesian dance “Flirting”, “The grove”, “The gander”, “The schoolmaster”
(z “Album for the young”);
- ⑦ Tatry – Zygmunt Noskowski : Fantazja góralska (na 4 ręce)

15:50 – 16:00 Wystąpienie końcowe Dyrektora Instytutu Polskiego w Tokio
Urszuli Osmyckiej

登壇者紹介

パヴェウ・ミレフスキ (Paweł Milewski) 駐日ポーランド共和国特命全権大使



1975年生まれ。1999年アダム・ミツケヴィチ大学にて中国学修士号を取得後、1996年より首都師範大学（中国）、続いて1997年より廈門大学（中国）に留学。2003年ワルシャワ経済大学国際経済研究室研究課程（PG Dip）修了。1999年ポーランド共和国外務省入省。2000年よりアタッシュェ、三等書記官としてアジア・太平洋局にてアジア・太平洋諸国問題に従事。2003年から2009年にかけて駐中華人民共和国ポーランド共和国大使館にて二等書記官、一等書記官、参事官として勤務。2009年よりポーランド共和国外務省アジア・太平洋局東アジア・太平洋課長、2011年よりアジア・太平洋局副局長を務める。2013年に駐オーストラリア・ポーランド共和国大使に就任する。この間、駐パプアニューギニア・ポーランド共和国大使を兼任。2017年ポーランド共和国外務省アジア・太平洋局局長に就任。2019年10月に駐日ポーランド共和国大使として来日。

ウルシュラ・オスミツカ (Urszula Osmycka) ポーランド広報文化センター所長・参事官



ワルシャワ大学日本学科卒業、専門は近現代日本史。1999年、文部省在外研修員として鹿児島大学で1年間日本語・日本文化研修、2002～2006年、九州大学法学部で学び、修士号（政治学）を取得。帰国後、在ワルシャワエジプト大使館、在ワルシャワ日本国大使館などに勤務。2009年、外務省のアジア・太平洋局に勤務。2011年、日ポ外交官交流プログラムに参加し、外務省欧州課でのインターンシップを修了。2012～2018年、駐日ポーランド大使館政治経済部で政治・報道問題、広報文化外交のプロジェクトを担当。2018年8月より、外務省大臣官房参事官。2021年9月、東京のポーランド広報文化センター長に就任。英語、日本語、フランス語に堪能。

平岩理恵 (Rie Hiraiwa) フォーラム・ポーランド事務局長、ポーランド広報文化センター



ポーランド語通訳・翻訳家。東京外国語大学大学院修士前期課程修了。ワルシャワ大学音楽学研究所に政府給費留学（2001～03年）。研究テーマはポーランドの舞曲およびスタニスワフ・モニューシュコ。訳書に『ショパン家のワルシャワ』（国立フリデリク・ショパン研究所）、絵本《ぼくショパン》シリーズ（同）、Curator's choice『フリデリク・ショパン博物館』（Scala Arts & Heritage）ほか、共訳書に『ショパン全書簡』（「ポーランド時代」および「パリ時代(上・下)」。岩波書店）、編著に『ポーランド声楽曲選集第4巻『モニューシュコの家愛唱歌集〈選〉』がある。フォーラム・ポーランド事務局長。2024年よりポーランド広報文化センター文化担当エキスパート。

白木太一 (Taichi Shiraki) フォーラム・ポーランド副代表



1959年東京生まれ。早稲田大学第一文学部西洋史専修卒業。早稲田大学大学院文学研究博士課程単位取得退学。1986~89年、ワルシャワ大学歴史研究所留学。文学博士。現在、大正大学文学部歴史学科教授。専門は近世ポーランド史。主要業績：『近世ポーランド「共和国」の再建—四年議会と五月三日憲法への道』（彩流社、2005年）、「近世ポーランドにおけるヘトマン（軍司令官）職—その社会的役割の変遷を中心に—」井内敏夫編『ヨーロッパ史におけるエリート』（太陽出版、2007年）、「聖職者イグナツィ・クラシツキと18世紀後半のヴァルミア司教区」『鴨台史学』第9号、2009年、『[新版]一七九一年五月三日憲法』（ポーランド史叢書2）（群像社、2016年）、「18世紀後半から19世紀初頭のワルシャワの作曲家と音楽会活動—近代ポーランド市民音楽形成に関する基礎的考察—」『国民音楽の比較研究に向けて—音楽から地域を読み解く試み—』（京都大学地域統合センター、2015年）、『現代ポーランド音楽の100年—シマノフスキからペンデレツキまで—』（ダヌータ・グヴィズダランカ著、重川真紀氏との共訳）、音楽之友社、2023年、『ポーランド・バルト史（山川セレクション）』（共著、山川出版社、2024年）、『ポーランドの歴史を知るための56章（第2版）』（共編著、明石書店、2024年）。

細田信輔 (Shinsuke Hosoda) 龍谷大学名誉教授



1955年、東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。同大学院経済学研究科単位取得退学。1987~1993年、ヴロツワフ大学留学。同大学歴史研究所にて博士学位取得。1999~2000年、グダニスク大学客員教授。主著：「1921年の中部ドイツ武装蜂起（上）（下）」、『三田学会雑誌』第79巻（1986）；‘Regulamin karny (1861) i regulamin pracy (1869) w kopalniach Księstwa Pszczyńskiego’, *Śląski Kwartalnik Historyczny Sobótka*, R.47 (1992)；*Położenie socjalne robotników w górnictwie węglowym w dobrach książąt pszczyńskich na Górnym Śląsku w latach 1847-1870*, Wrocław 1997；「カシューブ人の歴史と地域主義—ドイツとポーランドのはざままで—（I）（II）（III）」、『龍谷大学経済学論集』第41巻、第42巻、第46巻（2001-2006）；‘Historia i aktualna sytuacja mniejszości etnicznych w Polsce i Japonii na przykładzie Kaszubów, Ajnów i Okinawańczyków’, *Acta Cassubiana*, T.15 (2013)；‘Historia Kaszubów w oczach badacza japońskiego. Kaszubi a mniejszości etniczne oraz narodowe w Japonii’, M. Maciejewski i in (red.), *Tendencje rozwojowe myśli politycznej i prawnej*, Wrocław 2014；「フローリアン・ツェイノヴァの思想と行動（1817-1881）—カシューブ人の歴史と知識人—」、『龍谷大学経済学論集』第63巻（2024）。

藤井和夫 (Kazuo Fujii) 関西学院大学名誉教授



1950年、兵庫県姫路市生まれ。関西学院大学経済学部卒業、同大学院博士後期課程単位取得退学。1978~80年（ウッジ大学）、1994年（ワルシャワ大学）、2016年（クラクフ経済大学）留学。関西学院大学経済学部教授を経て、現在、関西学院大学名誉教授。専門はポーランド経済史・経営史。経済学博士。主な著書：『ポーランド近代経済史—ポーランド王国における繊維工業の発展(1815-1914年)—』（日本評論社、1989年）、『現代世界とヨーロッパ—見直される政治・経済・文化—』（編著、中央経済社、2019年）、『19世紀ポーランド社会経済史—ウッジにおける企業家と近代社会の形成—』（関西学院大学出版会、2019年）。1992年より日本ポーランド協会関西センター代表、現在に至る。

衣笠太朗 (Taro Kinugasa) 神戸大学講師



1988年、鳥取県八頭郡生まれ。静岡大学人文社会学部卒業、神戸大学大学院人文学研究科博士課程前期課程修了、東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。2015~2016年にハレ大学(ドイツ)、2017~2018年にヴロツワフ大学へ留学。秀明大学学校教師学部助教を経て、現在は神戸大学大学院国際文化学研究科講師。専門はシロンスクの歴史、ドイツと中東欧の近現代史。主要業績:『旧ドイツ領全史——「国民史」において分断されてきた「境界地域」を読み解く』(パブリプ、2020年)、『ドイツ帝国の解体と「未完」の中東欧:第一次世界大戦後のオーバーシュレージエン/グルヌイシロンスク』(人文書院、2023年)、「複合国家の近現代——シュレージエン/シロンスク/スレスコの歴史的経験から」岩井淳/竹澤祐丈編『ヨーロッパ複合国家論の可能性:歴史学と思想史の対話』(ミネルヴァ書房、2021年、79-92頁)。

三和昭子 (Akiko Miwa) Villa AKIKO オーナー



熊本県生まれ。東洋英和女学院短期大学保育科出身。1969-70年、NHK聴覚障害児教育番組担当。働き続けたい母親支援の為に共同保育所を開設。障がい児も積極的に引き受ける。1984年、3人の子供達全員が公害認定病で喘息となり、長野県に移住。その後全員完治。1989年、ポーランドに留学目的(工芸・ステンドグラス)で渡航。ポドハレ地方の魅力に触れ、1990年にペンションAKIKOの建築開始、1992年に営業開始。以来32年間、多くの旅行者、文化人、地域住民、そして日本人を受け入れてきた。現在、娘ののぶがペンション経営を引き継ぎ、息子はワルシャワで歯科技工士として活躍している。1996年、体育・観光庁長官表彰、2011年、スポーツ・観光省褒賞受賞。2018年、旭日単光章受章。その他、受賞、表彰多数。
<http://www.akiko.pl/?lang=ja>

木田左和子 (Sawako Kida) ピアニスト、昭和女子大学講師



桐朋学園大学卒業後、ポーランド国立ショパン音楽アカデミー(現ショパン音楽大学)研究課程に留学。ポーランドラジオ、NHK-FMの放送録音、「シマノフスキ 3Mとマズルカ」リサイタルシリーズ、日本シマノフスキ協会例会、ヴァイノフ弦楽四重奏団、チェコ・フィルハーモニー・ゾリステン、ポーランドラジオオーケストラとの共演の他、ポーランド・カリシュ・フィルハーモニー、ヴァウブジフ・フィルハーモニー、東京ニューシティ管弦楽団、山形交響楽団の定期演奏会にて共演。2005年愛知万博ポーランド館、2010年日本ショパン協会主催“ショパン・フェスティバル2010 in 表参道”にてリサイタル。1983年第1回シマノフスキコンクール(ポーランド)にてディプロマ、1993年第2回ウィーン国際コンクール(オーストリア)にてピアノ部門第2位及びジャン・フレデリック・ペルヌー賞受賞。『ショパン室内楽名作集』、『カロール・シマノフスキ作品集~「神話」への誘い』(オクタヴィア・レコード 2023年)をリリース。上野久子、須田眞美子、バルバラ・ムシンスカの各氏に師事。昭和女子大学非常勤講師、(公財)目黒区芸術文化振興財団評議員、日本ショパン協会正会員、日本シマノフスキ協会理事。

草野由美子 (Yumiko Kusano) ピアニスト



国立音楽大学附属中学校、附属高等学校音楽科を経て、国立音楽大学ピアノ専攻卒業。ポーランド政府給費留学生として1989年ポーランド国立ショパン音楽アカデミー（現ショパン音楽大学）に留学、研究課程を修了。特にシマノフスキの音楽に魅せられて、帰国後のライフワークとなる。2002年から2004年まで2年間、東京外国語大学外国語学部ポーランド学科の研究生として在籍、関口時正教授のご指導を受けながら、シマノフスキの研究に取り組み、「シマノフスキと《ハルナシュ》」という題で研究論文を執筆。それ以降ピアノ曲だけでなく、シマノフスキの歌曲も度々取り上げてリサイタルを行う。最近はチェリストと一緒に、ショパンの室内楽曲を始め、ベートーヴェン・ヴェンチェロ曲（全9曲）コンサート等、室内楽で活動の場を広げている。今野信子、宅孝二、細川哲郎、ショパン音楽アカデミー元学長カジミエシュ・ギェルジョド、ラミロ・サンジネス、マリア・ストイェク各氏に師事。

<https://forumpoland.org/wp/wp-content/uploads/2023/02/Kusano.pdf>

小早川朗子 (Tokiko Kobayakawa) ピアニスト、桜美林大学教授



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校・同大学を経て、同大学大学院音楽研究科入学。ワルシャワ・ショパンアカデミーの研究生として2年間のポーランド留学の後、復学。修士課程ピアノ専攻首席修了、NTTドコモ賞受賞。その後同大学院博士後期課程に在籍し、博士号（音楽）取得。現在桜美林大学芸術文化学群音楽専修教授。ポーランド・アントニンにて、留学生のためのショパンピアノトーナメントでグランプリ、特別賞受賞。パリ国際マギンコンクールにて一位、およびジャーナリスト賞受賞。これまでに安田宏子、金子 園、足立和子、高良芳枝、角野 裕、クラウス・シルデ、多 美智子、ブロニスワヴァ・カヴァラの各氏に師事。大阪・東京、パリでのリサイタルの他に、ワルシャワ・ワジェンキ公園やショパンの生家でのショパンコンサートなどポーランド各地で演奏。ピアノ公開レッスンや公開講座などでポーランド語通訳を務める。アイエムシー音楽出版「はじめてのポーランド・ピアノ曲集Vol.1,2」付属CD演奏。ハンナ社出版の「ポーランド声楽曲選集 第1-7巻」の編者。

<https://gproweb1.obirin.ac.jp/obuhp/KgApp?kyoinId=ogbgggyk>

加須屋明子 (Akiko Kasuya) フォーラム・ポーランド副代表



1963年兵庫県たつの市生まれ。京都大学大学院博士後期課程単取得満期退学（美学美術史学専攻）。ヤギェロン大学（クラクフ、ポーランド）哲学研究所美学研究室留学。国立国際美術館主任学芸員を経て、現在、京都市立芸術大学美術学部・大学院美術研究科教授。博士（文学）。専門は近・現代美術、美学。主な展覧会企画は「芸術と環境－エコロジーの視点から」1998年、「死の劇場－カントルへのオマージュ」2015年、「セレブレーション：日本ポーランド現代美術展」2019年など。2011年-2020年龍野アートプロジェクト芸術監督。2022年よりたつのアート実行委員会代表。主な著書『ポーランドの前衛美術——生き延びるための「応用ファンタジー」』（創元社、2014年）、『現代美術の場としてのポーランドーカントルからの継承と変容』（創元社、2021年）など。

<https://www.kcua.ac.jp/professors/kasuya-akiko/>

田口雅弘 (Masahiro Taguchi) フォーラム・ポーランド代表



1956年生まれ。環太平洋大学経済経営学部教授、岡山大学名誉教授。専門は、現代ポーランド経済史、ポーランド経済政策論。1984年、ワルシャワ中央計画統計大学(SGPiS=現在のワルシャワ経済大学)経済学修士学位取得卒業。1988年、京都大学大学院経済学研究科博士課程後期単位取得退学(京都大学博士)。その後、岡山大学経済学部教授、ハーバード大学ヨーロッパ研究センター(CES)客員研究員、ポーランド科学アカデミー(PAN)客員教授、ポーランド科学アカデミー(PAN)客員教授、ワルシャワ経済大学正教授、岡山大学学

術研究院社会文化科学学域教授等を歴任。主要著書：『ポーランド体制転換論 システム崩壊と生成の政治経済学』(御茶の水書房、2005年)、『現代ポーランド経済発展論 成長と危機の政治経済学』(岡山大学経済学部、2013年)、*On the Identity of Poles.* (ed., Fukuro Shuppan, 2020), 『第三共和国の誕生 ポーランドの体制転換一九八九年』(群像社、2020年)。

<https://mstaguchi.wixsite.com/index>

参加申し込み方法

1. 参加登録

フォーラム・ポーランドのホームページ「CONTACT」のページからお申し込み下さい。

<https://forumpoland.org/contact/>

お問い合わせ種別：その他

お問い合わせ内容：「会議参加を希望します。」とお書きください。

または、メールでお申し込みください。

メール宛先: forumpoland2024@gmail.com

件 名：フォーラム・ポーランド2023年会議参加申込

本 文：会議参加を希望します。氏名（Name（例）YAMADA, Ichiro）、所属・専門（任意）

- ・参加を申し込まれた方にはEメールで返信いたします。お申し込みは、会場収容人数（コロナ対応）の上限（120名）に達した時点で締め切らせていただきます。
- ・メールには必ず返信します。48時間以内に返事がない場合には、恐れ入りますが再度CONTACTからメールをお送りいただくか、mstaguchi@gmail.comにご連絡ください。

2. 参加費振込

参加受付完了の返信がありましたら、下記のいずれかの方法で参加費を納入ください。なお、参加受付完了の返信を待たずして参加費を振り込まないで下さい。定員を超えた場合は、受付終了の返信をいたしますので、ご了承ください。

参加費2,000円は、会議前日までにお振り込みください。大学学部生、高校以下の学校生徒の方は無料です。

クレジットカードで決済する

フォーラム・ポーランドのホームページ「BOOKS/DONATION」のページ下部の[寄付]をクリックします。

https://forumpoland.org/books_donation/

Syncableのページに移動しますので、画面のカード決済を選択し、寄付金額2,000円（学生・生徒1,000円）を選択してカード情報を打ち込んで下さい。

なお、併せてご寄付もお願いしております。2,000円を超える額をお振り込みいただきました場合は、2,000円を参加費、それを超える額をご寄付として受領させていただきます。

口座に振り込む

下記の口座に参加費をお振り込みください：

三菱UFJ銀行岡山支店 口座名義：フォーラム・ポーランド 口座番号：(普) 0573439

領収書が必要な場合は、会議当日受付でお声がけください。

なお、併せてご寄付もお願いしております。2,000円を超える額をお振り込みいただきました場合は、2,000円を参加費、それを超える額をご寄付として受領させていただきます。

その他

事前申し込みがないと大使館に入館できませんので、必ず事前申し込みを行ってください。当日はこちらで事前に登録した名簿で氏名の確認をさせていただきますが、大使館のセキュリティの関係上、必要に応じてスマホの返信メール等の確認をさせていただくことがあります。

会場： 〒153-0062 東京都目黒区三田2丁目13-5 駐日ポーランド共和国大使館 地下1F



Google Map

フォーラム・ポーランドへのご寄付のお願い

フォーラム・ポーランドは、2022年9月にNPOから任意団体に変更され、それに伴い、賛助会員制度も廃止されました。今後はご寄付のみによって運営されます。

現在、ホームページの作成等により、数十万円の赤字の状態です。大変厳しい財政状況ですので、皆様のご支援を是非よろしくお願いいたします。

今後の活動としては、引き続き毎年学際的なテーマで会議を行うとともに、会議録、ポーランド文学古典叢書、ポーランド史叢書、ポーランド声楽曲選集等を編纂、発行していく予定です。また、ホームページを通じて積極的に情報を提供していくと同時に、ポーランド関係諸団体との有機的なネットワークを構築してまいります。将来的には、ポーランド関係

データベースの拡張、ポーランド図書館の設立、翻訳、通訳サポートの拡充などを図って行きたいと考えており、そのために書籍販売や寄付を募る活動を推進していきたいと思っております。当面、100万円を目標に寄付を募っています。

ご寄付にあたっては、ホームページからカード決済することにより、いつでも気軽に寄付をし、フォーラム・ポーランドの活動を支援することができます。もちろん、銀行振込も受け付けております。

皆様の暖かいご支援をよろしく願いいたします。

クレジットカードで決済する

フォーラム・ポーランドのホームページ「BOOKS/DONATION」のページ下部の[寄付]をクリックします。

https://forumpoland.org/books_donation/

Syncableのページに移動しますので、画面のカード決済を選択し、任意の寄付金額を選択してカード情報を打ち込んで下さい。カード決済は、1回につき1,000円から50,000円の範囲でご寄付額をお選びいただけます。1回につき50,000円を超えるご寄付は、銀行口座にお振り込みをお願いしております。

銀行口座に振り込む

下記の口座に参加費をお振り込みください：

三菱UFJ銀行岡山支店 口座名義：フォーラム・ポーランド 口座番号：(普) 0573439

注意：

- カード決済のご寄付は、1回につき50,000円までです。1回につき50,000円を超えるご寄付は、お手数ですが銀行口座にお振り込みいただくか、カード決済の場合は数回に分けてお振込みください： 三菱UFJ銀行 岡山支店 口座名：フォーラム・ポーランド (普) 0573439
- 大変申し訳ありませんが、フォーラム・ポーランドへのご寄付は税金控除の対象ではありません。
- 寄付口座はフォーラム・ポーランド2023年会議と同じ口座になります。会議の期日までにご寄付いただく場合、または会議参加費と一緒にご寄付いただく場合などは、大変お手数ですが、ご寄付の旨、フォーラム・ポーランドのホームページ「CONTACT」のページからご一報いただくと幸いです。

<https://forumpoland.org/contact/>



フォーラム・ポーランド代表

<https://forumpoland.org/>